

支援プログラム

オールウェイズクレヨン 児童発達支援・放課後等デイサービス

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスのオールウェイズクレヨン（春日部）				
作成年月日	令和7年2月26日				
法人理念					
支援方針	『必要なスキルを身につけて自信を持って集団生活がおくれること』が目的です。 当事業所では、お子さまのアセスメントをしっかり行った上で、お子さまの得意な面を生かしながら、一人ひとりにあった必要なスキルを身につけられるような支援を提供していきたいと考えております。支援の方法はソーシャルスキルトレーニング・言語聴覚士による言語発達支援・運動活動・音楽活動・感覚、感触遊びなどがあり日々の活動に取り入れながら、5領域に沿って総合的に支援しています。そして様々な体験・経験を通して、「わかった!」「できた!」「たのしかった!」そして、「もっとやりたい!!」の気持ちへ、それを積み重ねて自信へ繋げていきたいと考えています。				
営業時間	月曜日～金曜日	9：30～18：30	土曜日	8：30～17：30	
支援時間	児童発達支援	10：30～13：40			
	放課後等 デイサービス	平日	14：00～17:30	土曜日	10：30～16：30
		長期休日	10：30～17：30		

送迎実施の有無	送迎有り
---------	------

本人支援	5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）との関連性を示した支援内容
------	---

健康・生活	ねらい	①健康状態の維持・改善	
		②生活習慣や生活リズムの形成	
		③基本的な生活スキルの獲得	
		④生活におけるマネジメントスキルの育成	(放課後等デイサービスのみ)

① 健康状態の維持・改善

支援内容	a 健康状態の把握と対応
------	--------------

当事業所の支援内容(一例)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来所時の検温、顔色の把握、来所前の気になる健康状態などをラインにて保護者様からご連絡をいただいています。 ・ 熱があった場合、怪我をした場合には保護者様に即時ご連絡をいたします。 ・ 意思表示が難しいお子さまは特性を考慮しながら、心身の小さなサインを見逃すことなく細やかに健康状態を把握しています。 ・ 手洗いが難しいお子さまは職員が一緒に行っています。手洗いの仕方はイラストで確認します。 ・ おやつ作りなどの調理、栄養面なども含めて食育に取り組んでいます。 ・ 室温の調節や換気への配慮を行っています。
---------------	--

支援内容	b リハビリテーションの実施
------	----------------

当事業所の支援内容(一例)	・ 言語聴覚士による摂食嚥下機能訓練の評価・訓練などを行っています。
---------------	------------------------------------

② 生活習慣や生活リズムの形成

当事業所の支援内容(一例)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や排泄等の基本的な生活習慣を身につけ自立を目標に支援しています。(箸・スプーン・フォークの片付け、おやつ後の食器片付けなど) ・ 着替え、衣服の調節、水分補給、また休息が取れるように促します。 ・ 室温の調節や換気への配慮を行っています。
---------------	---

③ 基本的な生活スキルの獲得		
支援内容	a 生活に必要な基本的技能の獲得	
当事業所の支援内容 (一例)	<ul style="list-style-type: none"> ・食事指導、排泄指導(同性介助)、衣類の着脱の手伝い(同性介助)、身だしなみチェック、身の回りを清潔にすることを習得できるよう、お子さまの状態に応じて適宜に支援しています。 ・散歩などを通して交通安全、社会のルールについての知識を習得できるようにします。 	
支援内容	b 構造化等による生活環境の調整	
当事業所の支援内容 (一例)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活スペースは視覚的に刺激の少ない掲示などに気を付け構造化しています。 ・時間や活動の流れはホワイトボードに書いて示し、見通しを持って行動できるように支援しています。 	
④ 生活におけるマネジメントスキルの育成		
当事業所の支援内容 (一例)	<ul style="list-style-type: none"> ・できたことには具体的に何が良かったのか伝え、沢山褒めて自己肯定感を持てるようにしています。一方、うまくいかなかったときは本人の特性を少しずつ伝えながら、一緒に気持ちの整理をして自分で考える力が育まれるように支援しています。 	
運動・感覚	ねらい	①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上
		②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用
		③身体の移動能力の向上
		④保有する感覚の活用
		⑤感覚の補助及び代行手段の活用
		⑥感覚の特性への対応
①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上		
当事業所の支援内容 (一例)	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢の保持、体幹を鍛える、重心移動ができる、平衡感覚に繋がるなどの運動を取り入れています。(平均台、ケンケンパ、トランポリン、バランスボール、バランスストーンなど) ・様々な微細運動を取り入れ巧緻性を高めます。(折り紙、ぬり絵、切り絵、工作、シール貼り・剥がし、ひも通し、粘土、積み木、新聞紙ちぎりなど) ・様々な粗大運動を行い、筋力の維持・強化を図ります。(ラジオ体操、風船バレー、ボール遊び、サーキット運動、跳び箱、マット運動、リズム体操、滑り台・ブランコなど) ・目の動きの練習を取り入れています。(ナンバータッチ、文字探し、間違い探し、何が通ったゲーム、ボールキャッチなど) 	

④保有する感覚の活用		
当事業所の 支援内容 (一例)	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚（絵しりとり、文字探し、数字探し、迷路、点つなぎ、何が通ったでしょうクイズなど） ・聴覚（なぞなぞ、しりとり、伝言ゲームなど） ・触覚（粘土遊び、スクイーズ遊び、ボールプール、箱の中身はなんでしょうゲーム、柔らかボール遊びなど） ・固有覚（ジャンプ遊び、タオル引き、手押し相撲、動物歩き、手押し車、壁腕立て伏せ、お相撲など） ・前庭覚（バランスボール、トランポリン、片足立ち、ケンケンパ、くるりんぱ、平均台、滑り台・ブランコなど） 	
⑤感覚の補助及び代行手段の活用		
当事業所の 支援内容(一例)	・周りの音が気になるお子さまに対しては、イヤーマフを使用し過度な刺激を軽減できるように配慮しています。	
⑥感覚の特性への対応		
認知・行動	ねらい	①認知の特性についての理解と対応
		②対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得(感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知機能への発達、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成)
		③行動障害への予防及び対応
① 認知の特性についての理解と対応		
当事業所の 支援内容 (一例)	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚優位のお子さまにはイラスト、写真などで指示しています。言語優位のお子さまには文字などで指示しています。聴覚優位のお子さまには口頭ではっきりと指示を伝えます。 ・こだわりがどこで出てくるのかを把握し、偏食についても理解し少しずつ改善できるように支援しています。 	
②対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得		
支援内容	a 感覚の活用や認知機能の発達	
当事業所の 支援内容(一例)	活動指示はイラスト、写真、文字、言葉、職員のモデリングなどを行っています。	
支援内容	b 知覚から行動への認知過程の発達	
当事業所の 支援内容 (一例)	・自分の物がわかる、自分の席がわかるように靴箱や座席に名前カードを使用しています。(自分と他人との区別がつくように声掛けをしています。)	
支援内容	c 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	

<p>当事業所の 支援内容 (一例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物の機能、属性(絵カードや実物で理解を促す) ・形、色 (形・色カードマッチングなど) ・音(リズム遊び、リトミック、ピアノを弾く、ハンドベルを鳴らす、音あてクイズなど) ・大小 (大小の絵カードや実物比べ、大きい・小さい・同じ・太い・細いなど)、物の順番(小さい順・大きい順など) ・数唱、数の順番、数の大小、個数の理解 (数カード、数の個数カード、ブロック、おはじき、お手玉、カラーボールなど) ・おやつは一つ一つにコイン枚数が決めてあり、一人コイン5枚で食べたい物を交換する形を取り入れ、数の意識に繋げています。 ・重さ (調理の際に材料の重さを秤で実際に計るなど) ・空間 (ブロックや積み木で見本を見てこれと同じものを別の場所を作る、紙飛行機を飛ばす、風船で遊ぶ、区切られた決められた場所で遊ぶなど) ・時間については当日の活動の流れをホワイトボードに掲示し、時計を書き入れ、具体的に「〇〇時に始まります。」「〇〇時まで待ちます。」「〇〇時で終わります。」などの声掛けをしています。
--------------------------------	---

③行動障害への予防及び対応

<p>当事業所の 支援内容 (一例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動きが激しいことでどんなことが起こり得るか危険に対する理解と予防をし、それを適切行動に変えられるように支援しています。 ・危険行動を予測して見守り支援をしています。
--------------------------------	--

<p>言語・コミュニケーション</p>	<p>ねらい</p>	<p>①コミュニケーションの基礎的能力の向上</p>
		<p>②言語の受容と表出</p>
		<p>③言語の形成と活用</p>
		<p>④人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</p>
		<p>⑤コミュニケーション手段の選択と活用</p>
		<p>⑥状況に応じたコミュニケーション</p>
		<p>⑦読み書き能力の向上</p>

①コミュニケーションの基礎的能力の向上	
当事業所の 支援内容 (一例)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を使って内容を理解する練習をします。 ・絵カードや写真を活用してやり取りの練習をします。 ・集団の中で順番に話すなどの状況や相手の表情を理解する練習をします。 ・話の中に身振り手振りを入れてわかりやすく伝える練習をします。 ・相手の目を見て最後まで聞く練習をします。
②言語の受容と表出	
当事業所の 支援内容 (一例)	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びやゲームを通して、言語コミュニケーション力を育めるように支援しています。 ・一定のルールに従ってゲームを最後までやり遂げられるように支援しています。(なぞなぞ、しりとり、言葉遊び、ジェスチャーゲームなど)
③言語の形成と活用	
当事業所の 支援内容 (一例)	絵カード、実物、写真などを使用して大小・量・形・色・時間などの違いを見つける、同じを見つける、同じをまとめられる、擬態語、擬音語などを知る。
④人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	
当事業所の 支援内容(一例)	始まりの会、帰りの会、集団課題活動、絵本、散歩など。
⑤コミュニケーション手段の選択と活用	
支援内容	a 指差し、身振り、サイン等の活用
当事業所の 支援内容(一例)	指差し、ジェスチャー、表情、サインなど。
⑥状況に応じたコミュニケーション	
当事業所の 支援内容(一例)	・小集団で自分の気持ちを伝える練習をします。(グループ会議などで進行役をするなど)
⑦読み書き能力の向上	
当事業所の 支援内容(一例)	・音韻意識、読みの練習、自分の名前のマッチング、鉛筆の持ち方、運筆、文字をなぞる練習など。

人間関係・ 社会性	ねらい	①アタッチメント（愛着）の形成と安定
		②情緒の安定 (放課後等デイサービスのみ)
		③他者との関わり（人間関係）の形成 (放課後等デイサービスのみ)
		④遊びを通じた社会性の発達
		⑤自己の理解と行動の調整
		⑥仲間づくりと集団への参加
①アタッチメント（愛着）の形成と安定		
支援内容	a アタッチメント（愛着）の形成	
当事業所の 支援内容(一例)	ふれあい遊び、手遊び、運動遊び、絵本読みなどしています。	
支援内容	b アタッチメント（愛着）の安定	
当事業所の 支援内容(一例)	優しい声掛け、お子さまの話をよく聞く、お子さまを褒める、お子さまの気持ちに寄り添っています。	
②情緒の安定		
当事業所の 支援内容(一例)	一人ひとりの存在を認め、お子さまの遊びや活動などを尊重しています。	
③他者との関わり（人間関係）の形成		
当事業所の 支援内容 (一例)	・勝ち負けのあるゲーム通して感情の理解と自分の感情の表出ができるように支援しています。（表情カード、ソーシャルスキルトレーニング、グループゲーム、ボードゲーム、カードゲーム、ドンじゃんけんなど。）	
④遊びを通じた社会性の発達		
支援内容	a 模倣行動の支援	
当事業所の 支援内容(一例)	お店屋さんごっこ、ごっこ遊び、リズムダンス、体操、ロールプレイなど。	
支援内容	b 感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援	
当事業所の 支援内容(一例)	遊具に合わせて自分の手足や体を動かして運動します。	
支援内容	c 一人遊びから協同遊びへの支援	
当事業所の 支援内容(一例)	人と役割のある遊びをします。（お店屋さんごっこ、ヒーローごっこ、幼稚園ごっこ、学校ごっこなど）	

⑤自己の理解と行動の調整	
当事業所の支援内容 (一例)	グループディスカッション、感情のコントロールカード、自己理解と他者理解（褒めあいなど）、ソーシャルスキルトレーニングなど。
⑥仲間づくりと集団への参加	
当事業所の支援内容 (一例)	集団で活動します。（公共施設に行く、散歩に行く、チームワークが必要なゲームをする、ミニ運動会、楽器演奏、勝ち負けのある遊びなど）

家族支援 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまとご家族さまとの関係を安定させることができるように見守りながら、ご家族さまとの信頼関係が構築できるように日頃から心掛けています。 ・ご家族さまから学校でのこと、ご家庭でのことなど様々なご相談に対して真摯に取り組み、一緒に考えさせていただいています。 ・お子さまに関する相談、気になること、些細なこと、どんなことでも面談は随時行っております。（いつでも、何度でも大丈夫です。） ・必要に応じて相談支援事業所、他の児童発達支援、放課後等デイサービス、児童相談所などと連携を図っています。
移行支援 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・移行先（小学校など）との支援内容や支援方法の共有を行います。 ・就学時健診等へのご案内をさせていただき、内容を共有しています。 ・お子さまが通う保育所、幼稚園、学校、学童クラブ、他事業所などとの情報共有・連携を図っています。 ・同年代のお子さまとの関わりが持てるように、児童館などを利用し交流を図っています。 ・他施設と併用利用の場合には、体調管理に気をつけ無理のない範囲で利用日数、利用時間などの調整を行います。
地域支援 地域連携 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所、保健所、教育相談所、こども支援課等の関係機関と情報共有や連携を図っています。 ・保健所や子育て支援協議会主催の協議会に参加して、情報共有や連携を図っています。 ・必要に応じて個別のケース検討会を関係機関に提案します。 ・相談支援事業所のモニタリングを通して、ご家庭、学校などでの課題を共有し連携を図っています。

<p>職員の質の向上・内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県発達障害総合支援センターの『動画で学ぶ発達障害』を視聴しています。 ・企業で発信している研修動画を視聴しています。 ・職員間で日々、個別対応の療育について話し合いを行っています。 ・保健所や子育て支援協議会主催の研修に参加しています。 ・個人のスキルアップのために資格研修に参加しています。
<p>主な行事など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事（正月…福笑い、こま作り、羽子板作り・節分…鬼のお面作り、豆まき・ひな祭り…ひな人形作り・端午の節句…こいのぼり作り・夏祭り…かき氷、くじ引き、的あて他・七夕…笹飾り、短冊作り・ハロウィン…お面作り、ピニャータ・クリスマス…クリスマスツリー作り、ビンゴ大会・大掃除） ・食育（おやつ作り、調理実習など） ・買い物体験 ・各種避難訓練（火災、地震、不審者、大雨など）避難経路を知る。